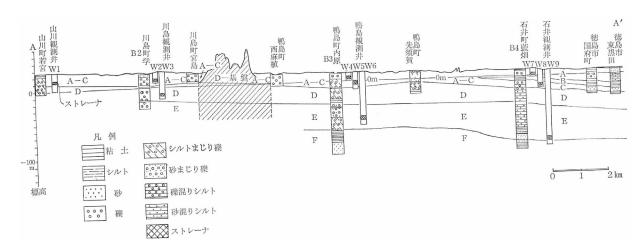


地形•地質

徳島平野は吉野川の下流に発達した沖積平野で、四国でも有数な地下水利用地帯です。都市化や吉野川上流のダム群の建設等の影響で地下水障害が発生した 1970 年 代以降、地下水保全のための調査が数々の機関によって行われています。

地下水

不圧地下水は、主として A 層(石井町以西においては徳島層) 中に存在し、徳島平野の中部で農業用水として用いられています。被圧地下水は、主として C 層および E 層に存在し、徳島市を中心とする海岸部で工業用水に利用されています。



徳島平野の模式断面図

徳島平野の地下地層層序表

時	代	地	層 名	層相	層厚	水 文 地 質	水理定数
htte	完	徳	A層	灰,暗灰色 礫まじり砂層	20m以下	不圧地下水帯水層。地下水は山川,川島,鴨島,石井町を中心に主として農業用水として利用されている。 海岸部(高徳本線以東)でところにより地下水の塩水化が進んでいる。	k=1~3×10° (cm/s)
第	新	島	B層	暗灰~灰色 海成シルト~粘土層 数十 cm のオンジ火 山灰層を挟む	30m以下	難帯水層	
四	世	層	C層	灰色砂礫層	50m以下	不圧・被圧地下水帯水層。 石井町以東に分布する。地下水は 主として工業用水として利用され ている。 海岸部でところにより地下水の塩 水化が進んでいる。	k=1~3×10 ⁻¹ (cm/s)
			D層	黄褐色 砂礫まじり粘土層	30m以下	難帯水層	
紀	更新	北島	E層	黄褐色 粘土まじり砂礫層	30~100m	不圧、被圧地下水帯水層。 地下水は主として工業用水として 利用されている。 海岸部でところにより地下水の塩 水化が進んでいる。	k=1×10 ⁻¹ ~1×10 ⁻² (cm/s)
	世	層	F層	黄~灰青色 砂礫まじり粘土層	50m以下	難帯水層	
			G層	黄〜灰青色 粘土まじり砂礫層	10m以下	帯水層であるが分布はせまい。	k=7~8 ×10-4(cm/s)
古~ 中生代		三洲	砂岩層			不透水性基盤	
(19664)	0 28	ШЛП 726	222 207 24 22 20 22 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	14 12 16 18 16 18 16 12 10 18 16 12 10 18 16 12 10	l測所 	製測所 鮎 野川	凡 例 各年度最高水位 各年度最低水位 地下水位連続観測 上 山地
	M	7777	18	11 16 mm	0	5 km	

徳島平野の地下水面等高線図

出典 日本の地下水(農業用地下水研究グループ,1986)(一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/ (日本地下水学会)